

第3回「住宅団地再生」連絡会議 in 高蔵寺ニュータウン

新たなコミュニティ交通 「菱野団地住民バス」 に関する取組

2018年11月5日（月）

瀬戸市 都市整備部 都市計画課
(菱野団地コミュニティ交通運行協議会)

瀬戸市の概要

● 市政施行 昭和4年10月1日

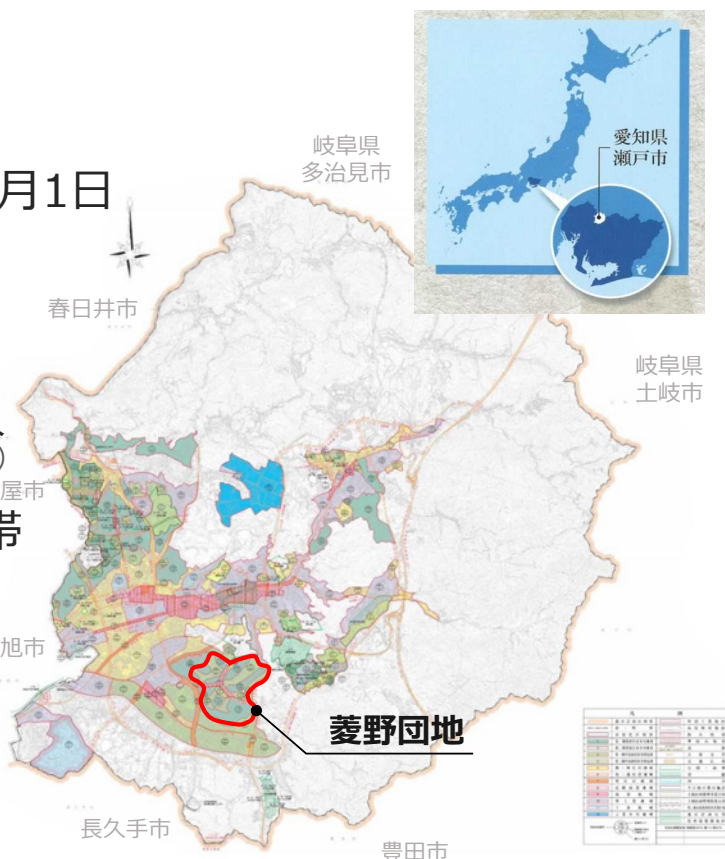
● 面積 111.40km²

● 人口 129,656人
(平成30年10月1日時点)

● 世帯数 55,609世帯

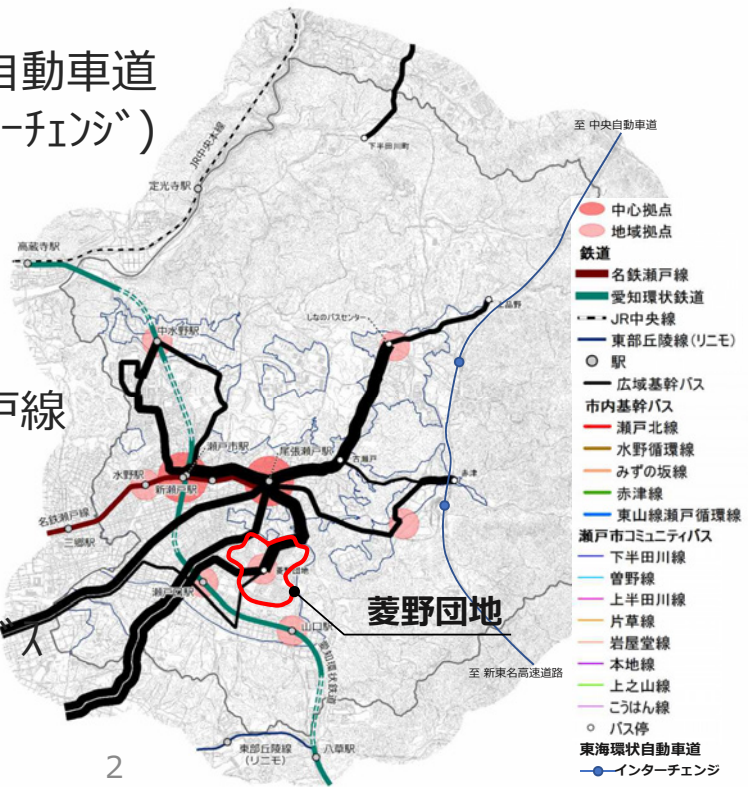
● 高齢化率 29.0%
(平成30年4月1日時点)

● 魅力 せともの



交通の概要

- **高速道路** 東海環状自動車道
(2つのインターチェンジ)
- **国道** 155号, 248号,
363号
- **鉄道** 名古屋鉄道瀬戸線
愛知環状鉄道
- **バス** 名鉄バス
瀬戸市コミュニティバス



菱野団地の概要

- **開発年度** 昭和41～53年度
- **計画面積** 173.5ha
- **計画人口** 30,000人
- **設計者** 黒川紀章
- **コンセプト**
 - ・ 良い環境
 - ・ 交通安全
 - ・ 便利な生活
- **人口** 12,054人※
(平成30年10月1日現在)(内外国人1,007人)
- **住宅戸数** 6,180戸
(平成22年)
(戸建住宅2,490戸)
(共同住宅3,690戸)



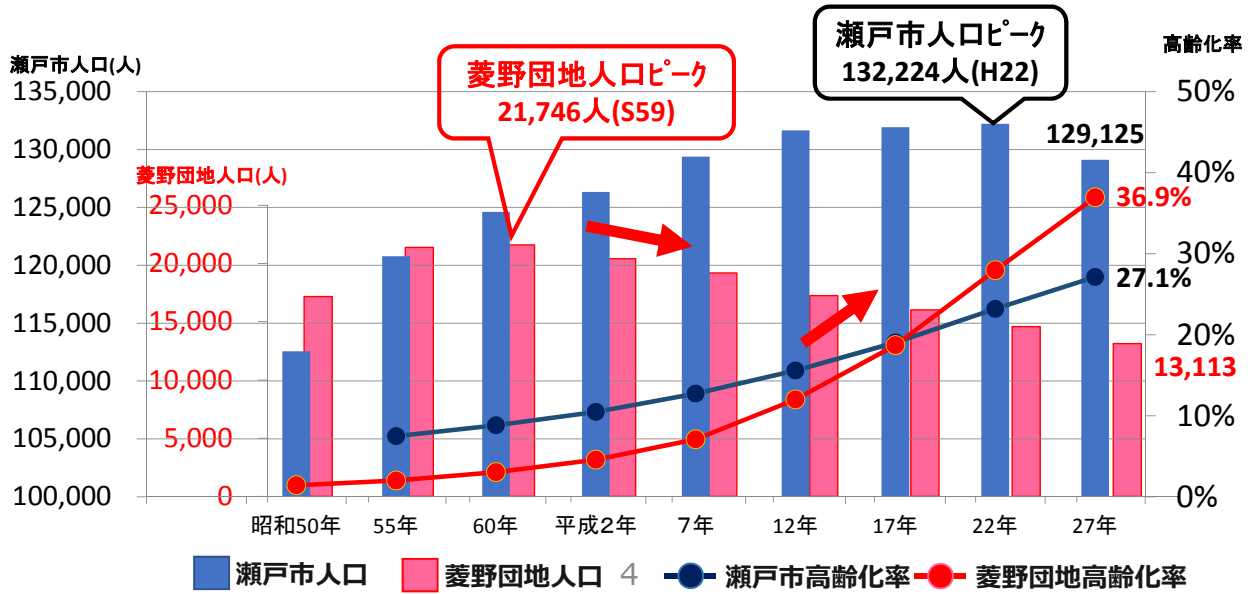
「都市・建築の記録」
<http://www.jia-johnan.jp/h-matsumoto/works/01land-p/hishino/01.html>



「瀬戸市・黒川紀章の生んだ県営菱野団地1」
<http://syouwasc.blog.fc2.com/blog-entry-135.html>

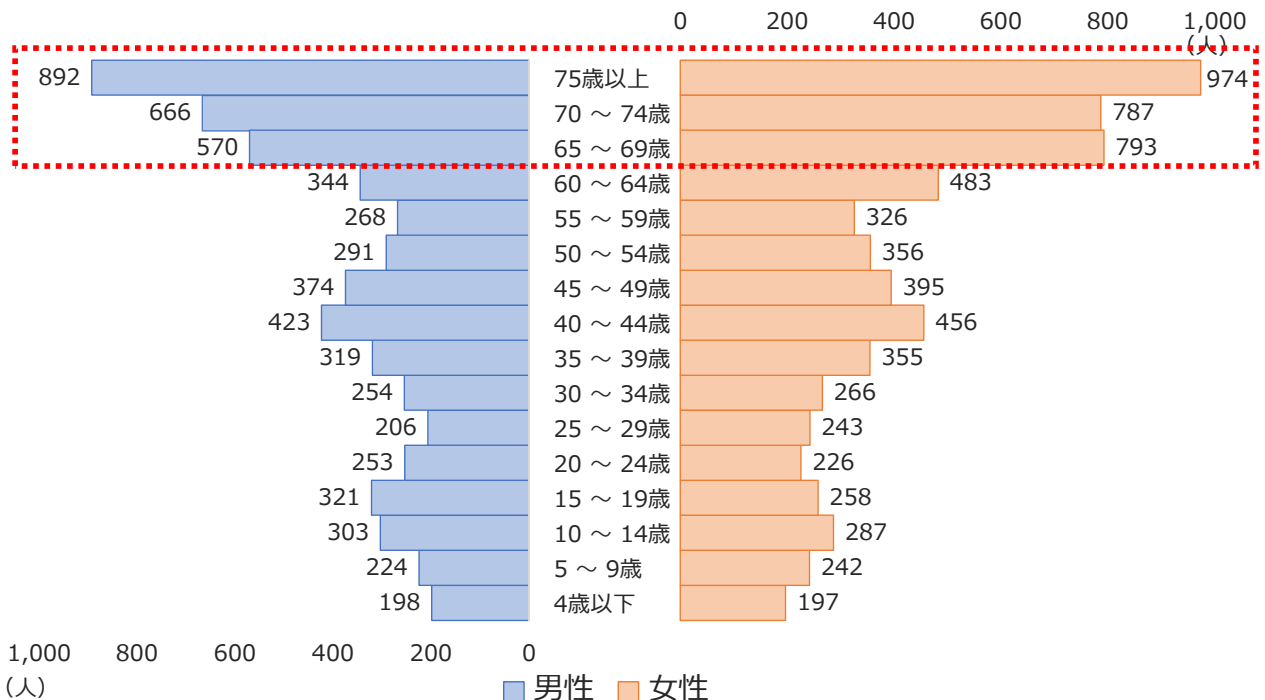
人口の推移

- 昭和59年から人口が減少 ※ピーク時21,746人(昭和59年)
- 平成12年頃から高齢化が急速に進行

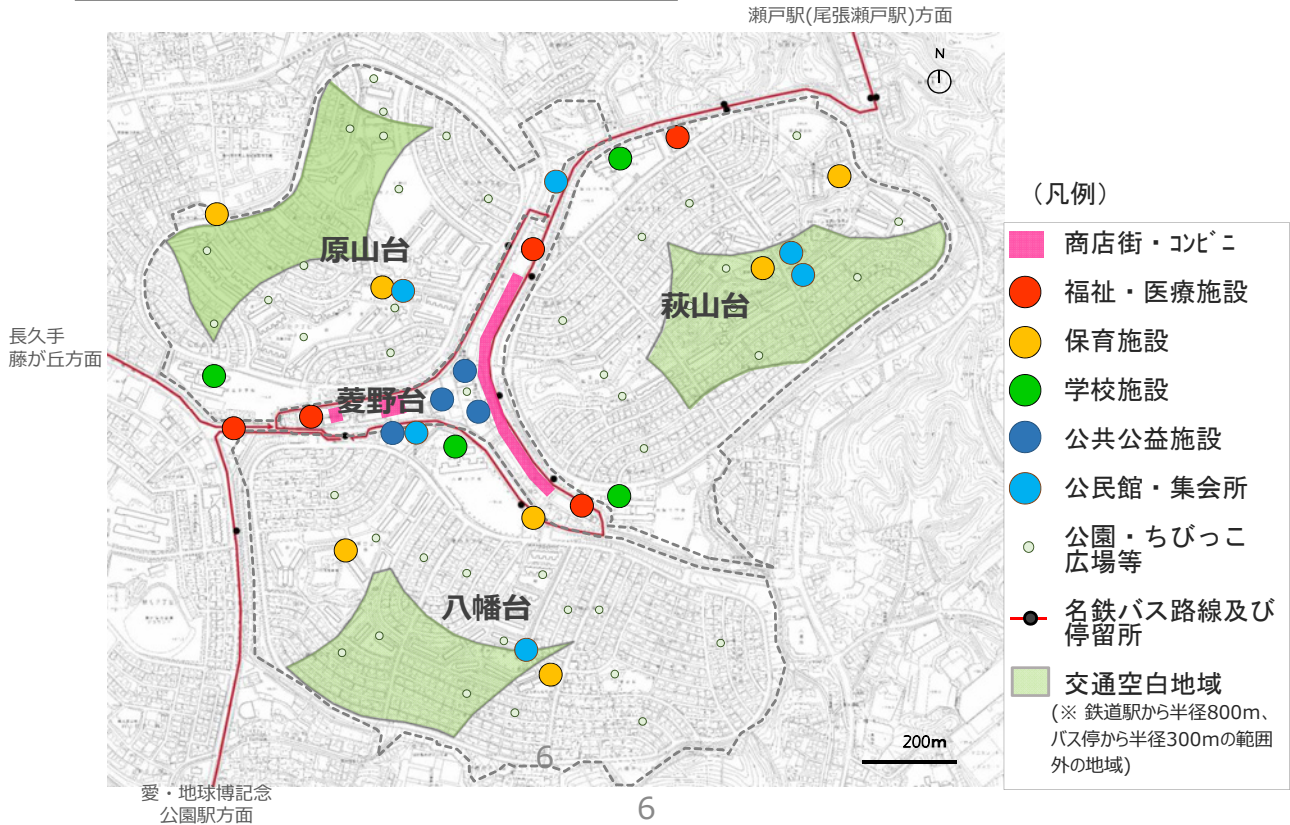


人口構成 (平成27年)

(菱野団地全体)



施設の分布・地勢



菱野団地住民バスのきっかけ

菱野団地の現状

- 人口減少と高齢化の急速な進行（市全体の高齢化率を大きく上回る）
- 坂道を歩いてバス停まで行くことが困難（公共交通空白地域の存在）
- センター地区の空洞化の進行（空き店舗の増加）

行政

- コンパクトなまちづくりと連動した公共交通ネットワークの再構築を目指す
- 住民に対する輸送手段の確保

地域住民

- 十年程前から、高齢者等の住民の移動手段の確保を検討
- 資金や人手が確保できない等、実現できなかった

交通事業者

- 利用者数は減少傾向にあり、厳しい状況
- 外出機会が促進されることで、既存公共交通も活性化される

新たなコミュニティ交通として

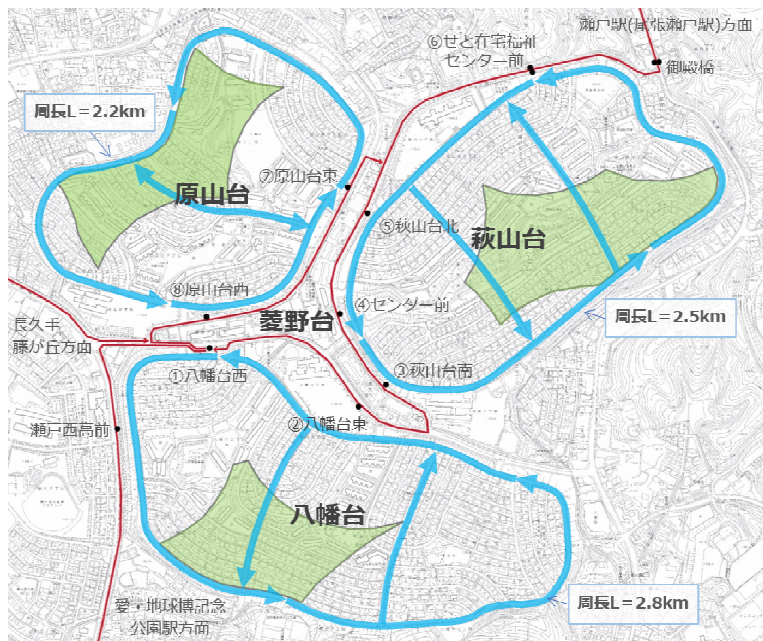
地域主導型の「菱野団地住民バス」社会実験の実施

瀬戸市地域公共交通会議で承認

(運行協議会※設立・関係機関協議・企画・実施(平成29年7月～12月)・検証)
※地域住民・交通事業者・行政で構成

住民バス(社会実験)の概要

- 住民バスとは、地域住民が協力し合って運行するバス
- 運転手は菱野団地のこれからを考えているボランティアさん



各団地の外周道路は手を挙げて知らせるとバスが安全な所に停車する(自由乗降)

8

住民バス写真



低速電動バスeCOM-8

最高速度
19km/h
燃料:電気
10人乗り



普通乗用車

19km/h
で運行
燃料:ガソリン
10人乗り

→ 菱野団地
住民バスルート

→ 名鉄バスルート

● 名鉄バス
バス停留所

■ 交通空白地域 ※

住民バス(社会実験)のおひろめ会(平成29年7月)

団地センターエリアへ300人超来場

- 菱野団地中央広場にて
- 低速電動バスeCOM-8試乗
- 名鉄バスこども運転士記念撮影
- 菱野団地等のNPOによる福祉「ミニマルシェ」の開催



住民バス(社会実験)の風景

「住民バス」は日常生活を支える移動手段であると同時に、地域のコミュニティの場にもなった

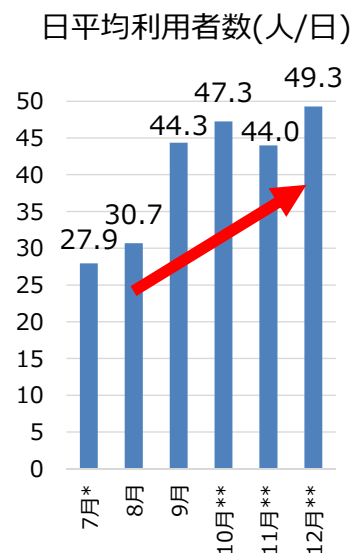
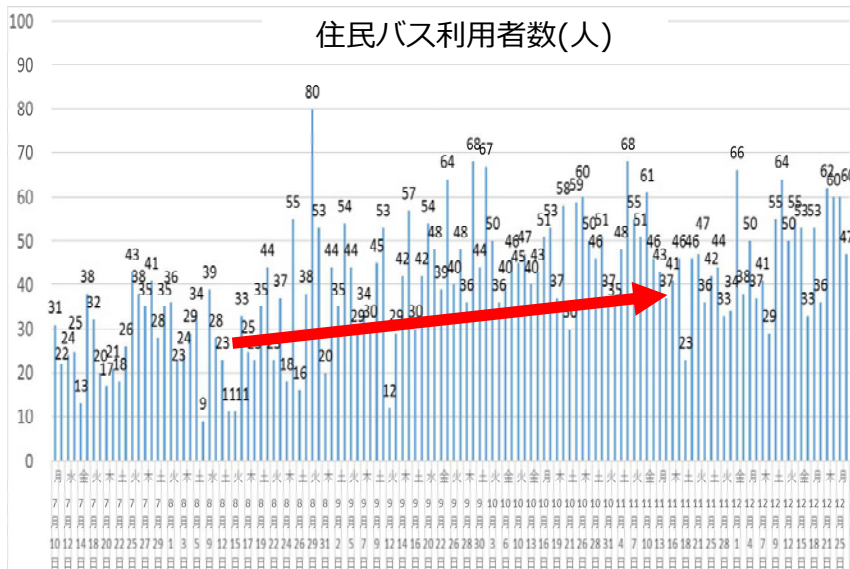


- 車内は和気あいあい
- ・世間話のおしゃべり
 - ・情報の交換
 - ・安否確認
 - ・子育て相談

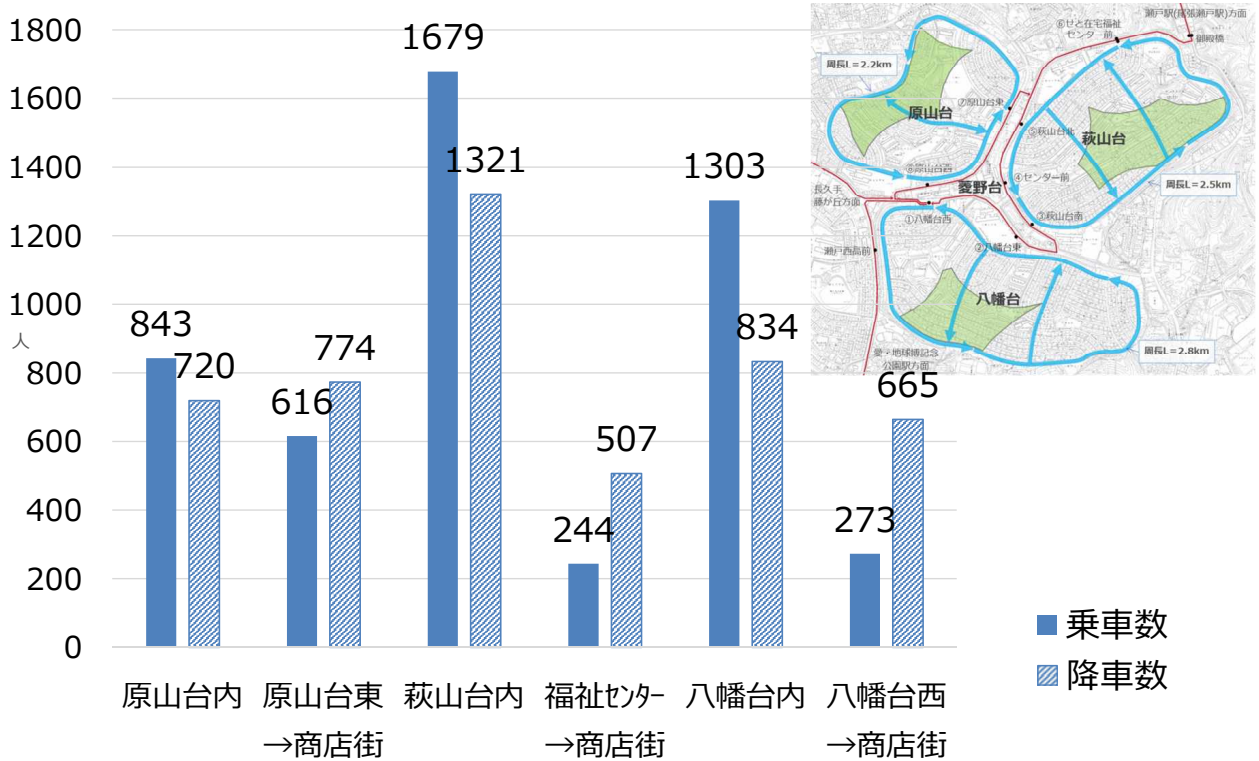
など

住民バス(社会実験)利用者数の推移

- のべ利用者数 4,966人 (1日あたり40.4人)
- 運行日数 123日間 9月30日まで週6日運行(日・祝日運休)
10月2日から週5日運行(水・日・祝日運休)
- 低速電動バスeCOM-8登録者数 580人

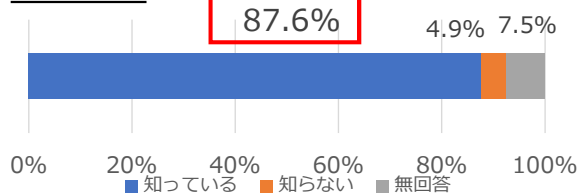


住民バス(社会実験)エリア別利用者数

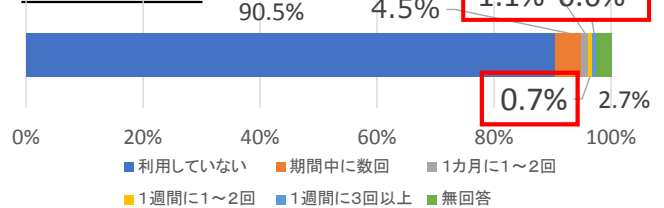


住民バス(社会実験)に関する住民意向

認知度



利用状況



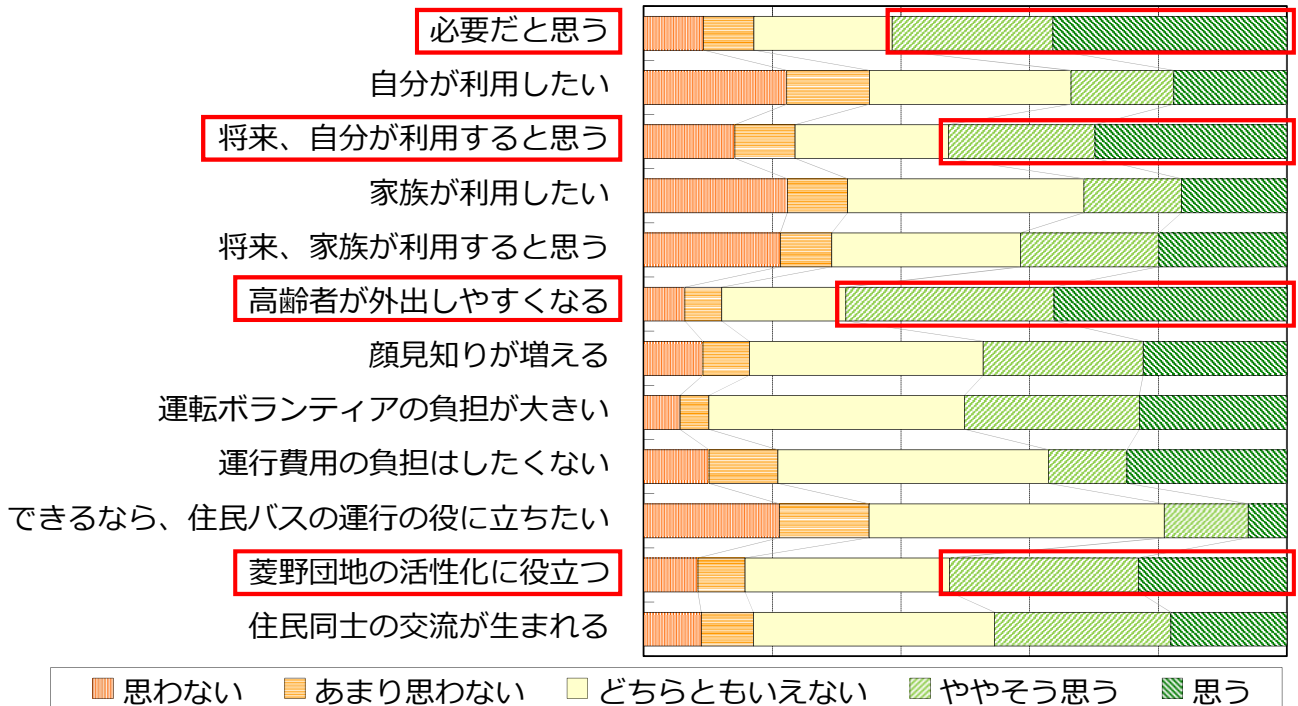
利用目的

選択肢	件数	割合
1. 買い物	36	50.7%
2. 通院・デイケア	12	16.9%
3. 公的・金融機関への用事(役所や銀行など)	13	18.3%
4. 食事	3	4.2%
5. 通勤・通学・通園	4	5.6%
6. 地域活動・ボランティア	10	14.1%
7. 散髪・美容	2	2.8%
8. 介護や看護	1	1.4%
9. 趣味・娯楽・習い事・社交・付き合いなど	9	12.7%
10. 試しに乗ってみた	30	42.3%
11. 家に帰る	22	31.0%
12. その他	0	0.0%
無回答	1	1.4%

住民バス(社会実験)に関する住民意向

住民バスへの期待

0% 20% 40% 60% 80% 100%



14

住民バスに関する基本的な考え方

成果

- 菱野団地の3つの地域がまとまり、行政と協働しながら、地域住民が主体的に運行した
- 団地内に限った住民の移動手段、新たなコミュニティの場となった
- 住民バスへの期待や運行再開を求める声等、住民の評価も得た

課題

- 運行主体の機能強化や収益を上げる仕組みなど、持続可能な運行の確立

運行再開に向けて

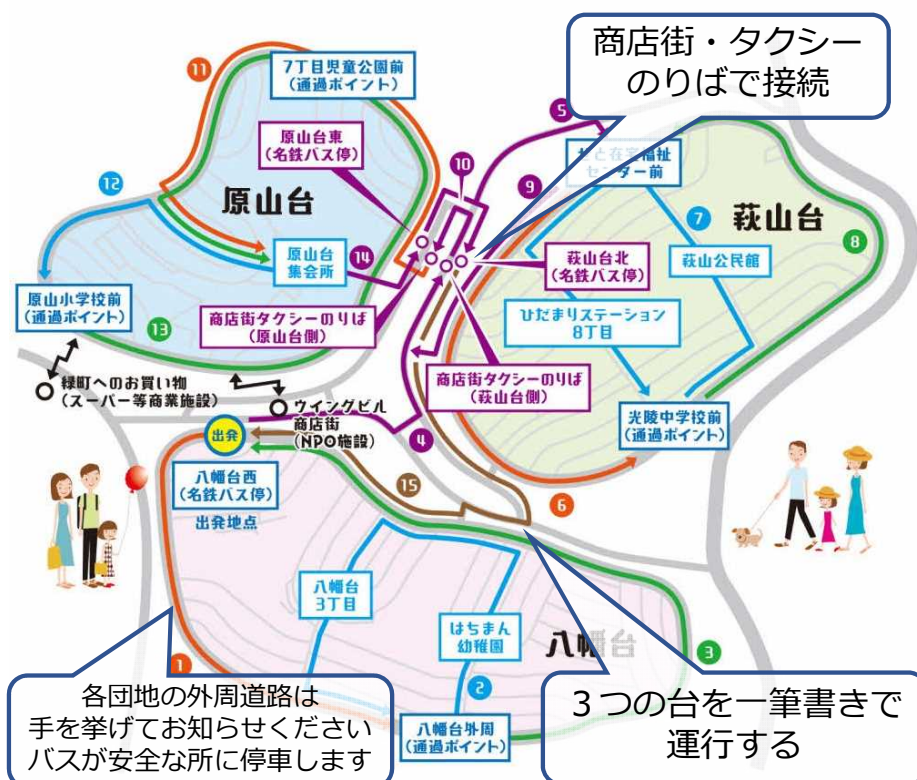
- 持続可能であるための課題を解決しながら、既存交通と連携して持続可能な移動手段を確保する
- 住民バスによる新たなコミュニティの場を提供することで、地域活性化とともに菱野団地の再生へつなげていく

15

住民バスの概要 (平成30年度事業)

運行主体	菱野団地コミュニティ交通運行協議会 (自治会、地域力向上協議会、交通事業者、瀬戸市)
運行日	月～金曜日 ※土・日曜・祝日運休
利用者	誰でも利用可能
運賃	無料
車両	普通乗用車 (ワゴンタイプ乗車定員10人) 2台 (市が所有する車両を貸与)
運転手	10名(団地内 7名/団地外 3名) 公募
事務員	2名 公募
運行経費	年間約370万円
費用負担	市(地域公共交通会議) 85.9% 3自治会(八幡台、原山台、萩山台) 14.1%※ ※瀬戸市コミュニティバスの収支率
検討課題	①自家用有償旅客運送事業への移行 ②収益の確保

住民バスの概要 (ルート・車両)



新しい住民バス

普通乗用車 2台



あおぞら号



つながり号

住民バスの概要 (ダイヤ)

バス停・通過ポイント		1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便	8便	9便	10便
八幡台	① 八幡台西(名鉄バス停)	9:10	9:40	10:10	10:40	11:10	11:40	13:10	13:40	14:10	14:40
	八幡台外周(通過ポイント)	9:12	9:42	10:12	10:42	11:12	11:42	13:12	13:42	14:12	14:42
	② はちまん幼稚園	9:14	9:44	10:14	10:44	11:14	11:44	13:14	13:44	14:14	14:44
	八幡台3丁目	9:15	9:45	10:15	10:45	11:15	11:45	13:15	13:45	14:15	14:45
萩山台	③ 八幡台外周(通過ポイント)	9:17	9:47	10:17	10:47	11:17	11:47	13:17	13:47	14:17	14:47
	④ 八幡台西(名鉄バス停)	9:20	9:50	10:20	10:50	11:20	11:50	13:20	13:50	14:20	14:50
	⑤ 商店街・タクシーのりば(萩山台側)	9:23	9:53	10:23	10:53	11:23	11:53	13:23	13:53	14:23	14:53
	⑥ せと在宅福祉センター前	9:25	9:55	10:25	10:55	11:25	11:55	13:25	13:55	14:25	14:55
原山台	⑦ 光陵中学校前(通過ポイント)	9:28	9:58	10:28	10:58	11:28	11:58	13:28	13:58	14:28	14:58
	萩山公民館	9:29	9:59	10:29	10:59	11:29	11:59	13:29	13:59	14:29	14:59
	⑧ ひだまりステーション8丁目	9:31	10:01	10:31	11:01	11:31	12:01	13:31	14:01	14:31	15:01
	⑨ 光陵中学校前(通過ポイント)	9:32	10:02	10:32	11:02	11:32	12:02	13:32	14:02	14:32	15:02
八幡台西	⑩ せと在宅福祉センター前	9:35	10:05	10:35	11:05	11:35	12:05	13:35	14:05	14:35	15:05
	⑪ 商店街・タクシーのりば(萩山台側)	9:37	10:07	10:37	11:07	11:37	12:07	13:37	14:07	14:37	15:07
	⑫ 商店街・タクシーのりば(原山台側)	9:38	10:08	10:38	11:08	11:38	12:08	13:38	14:08	14:38	15:08
	⑬ 原山台7丁目児童公園前(通過ポイント)	9:40	10:10	10:40	11:10	11:40	12:10	13:40	14:10	14:40	15:10
	⑭ 原山台集会所(Uターン)	9:42	10:12	10:42	11:12	11:42	12:12	13:42	14:12	14:42	15:12
	⑮ 原山小学校前(通過ポイント)	9:43	10:13	10:43	11:13	11:43	12:13	13:43	14:13	14:43	15:13
⑯ 原山台7丁目児童公園前(通過ポイント)	9:47	10:17	10:47	11:17	11:47	12:17	13:47	14:17	14:47	15:17	
⑰ 原山台集会所	9:49	10:19	10:49	11:19	11:49	12:19	13:49	14:19	14:49	15:19	
⑱ 原山台東(名鉄バス停)	9:50	10:20	10:50	11:20	11:50	12:20	13:50	14:20	14:50	15:20	
⑲ 萩山台北(名鉄バス停)	9:51	10:21	10:51	11:21	11:51	12:21	13:51	14:21	14:51	15:21	
⑳ 八幡台西(名鉄バス停)	9:54	10:24	10:54	11:24	11:54	12:24	13:54	14:24	14:54	15:24	

2台での運行
1時間に2便

バス停発着時刻を
毎時〇〇分、△△分
とわかりやすく

3便へ 4便へ 5便へ 6便へ 7便へ 8便へ 9便へ 10便へ 終了 終了

住民バスへの愛着促進

新しい「住民バス」の車両デザイン・愛称募集

- 菱野団地内の保育園・幼稚園、小・中学校から公募
- 100点を越えるアイデア
- 子どもたちのアイデアから、車両デザイン及び愛称、バス停、ハンドタオル(啓発グッズ) 等作成



車両デザイン及び愛称



バス停



ハンドタオル(啓発グッズ)

住民バスの出発式

住民バスが
ひしの
菱野団地に
やって来た

新しい「住民バス」の出発式

日時 8月5日(日) 9:00~11:00
場所 菱野団地中央広場 (菱野団地市民サービスセンター前の広場)

・デザイン・愛称の展示・表彰式

団地内の幼稚園や保育園児、小中学生などから募集したあらたなデザイン・愛称の「住民バス」をおひるめするよ！みんなが揃いてくれたすべての応募作品を展示し、記念品の贈呈や表彰式を行うよ！

マルシェ 10:00~11:00

「せと娘まん」「ちらし青菊」「野菜・果物」「お好み焼き」「黒にんにく」「かき氷」「手芸品」「ドーナツ＆コーヒー」「手作り豆腐」などを販売するよ！
その他、似顔絵コーナー、さきり織りの体験もあるよ！

茗荷ウイングビルでスタンプラリーを同時開催！先着100名に景品プレゼント！

小学生のミニコンサート
八尾小学校の児童のみなさんによる演奏があるよ！

バルーンアートなど
バルーンアート作業
さんが出したバルーンもプレゼントするよ！



住民バスの風景



瀬戸市

みんなで描く菱野団地 あらたなまちづくり

菱野団地再生計画策定に向けて

- 昨年11月、住民代表、NPO、学識者、民間企業、行政で組織する「菱野団地再生計画策定検討委員会」を設立
- 住民ワークショップ「カタリバ」を開催し、住民の皆さんが日頃感じている事やこうなったらいいのにと感じていることを話し合い



住民ワークショップの様子



瀬戸市

みんなで描く菱野団地 あらたなまちづくり



お試しアクション(社会実験)

菱野団地わいわい

フェスティバル

- みんなの「やってみたいこと」を実際にやってみる社会実験
- 3台一つになって開催し、センター地区の賑わいをお試し
- 住民バスも特別運行し、賑わいづくりと連携するお試し

HISHINO DAY FESTIVAL
WAYWAY MATSURI
Local: Entrente ao correio/sub.Prefeitura/prça do antigo MATSUZAKAYA

菱野団地
わいわい
フェスティバル
菱野団地中央広場
※菱野団地市民サービスセンター前の広場 (小雨決行)

2018年11月4日(日) 10:00-15:00

みんなの「やってみたいこと」を実際にやってみるお試しアクション(社会実験)
「菱野団地わいわいフェスティバル」。ぜひふらっと遊びに来てください!

マルシェ・飲食
菱野団地にたくさんのお店が集まります。お気に入り一品や美味しいものに、出会うチャンス!

ピザ作り体験
自分で収穫したハーブで、おいしいピザをつくってあふよう!小さなお子さんもお楽しみます。

中央広場テラスお披露目会
愛知県立芸術大学と協同で中央広場テラスをリノベーション! 住民会議を楽しくなる居心地のいい場所をつくります。

住民バス特別運行
※乗車の時間表、ムートで発行します。
普段、土・日曜日は運休ですが、フェスティバルに合わせ特別運行し、会場前(バス停留所)に集合! 乗降はバス専用通路(フェスティバル会場)から行きます。バス専用通路(フェスティバル会場)に集合! 「住民バスラッピングデザイン(ハンドラール)」をプレゼント!

くわしい内容は瀬戸市ホームページ「お知らせ」欄をご覧ください。

菱野団地再生に向けた提案もあみよ。名城大学 鈴木温研究室

主催 菱野団地再生計画住民ワークショップ 菱野団地コミュニティ交通運行協議会 瀬戸市

泉北ニュータウンまちびらき 50周年事業の取組について



平成30年11月5日
堺市ニュータウン地域再生室

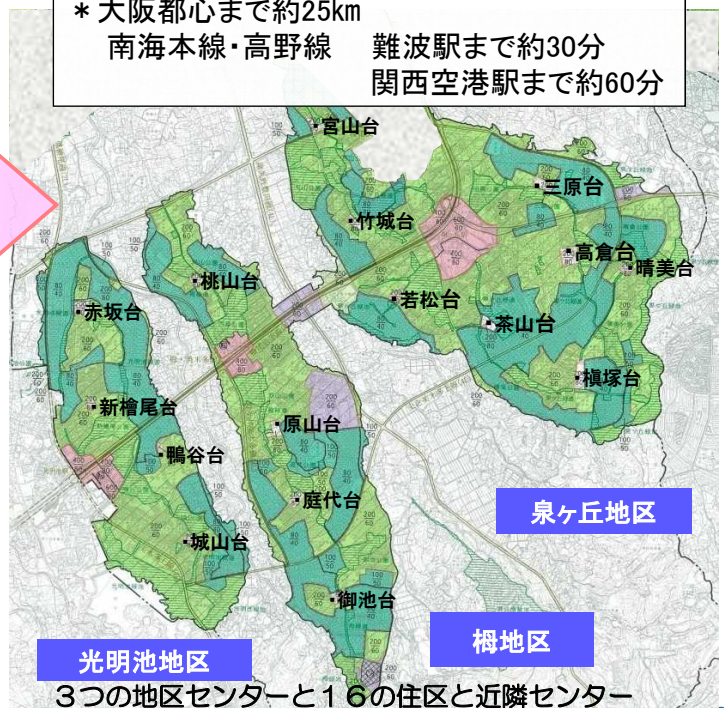
泉北ニュータウンの概要



◆千里ニュータウンと並ぶ大阪府内最大のニュータウン



* 大阪都心まで約25km
南海本線・高野線 難波駅まで約30分
関西空港駅まで約60分



事業主体	大阪府企業局
事業期間	昭和40年12月～昭和58年3月
入居開始	昭和42年12月
人口	123,100人 (平成30年3月) (ピーク時:平成4年 164,587人)
高齢化率	34.1% (堺市全体 27.5%) (平成30年3月)

3つの地区センターと16の住区と近隣センター

ニュータウン地域再生室について



◆事務分掌

- (1) 泉北ニュータウン地域の再生に係る施策の企画、推進及び進捗状況の管理に関すること。
- (2) 泉北ニュータウン地域の再生に係る関係機関及び関係部局との連絡調整に関すること。
- (3) 泉ヶ丘駅前地域、榎・美木多駅前地域及び光明池駅前地域の計画及び整備に関すること（他の所管に属するものを除く。）。
- (4) 旧高倉台西小学校活用事業者選定委員会に関すること。
- (5) 旧泉北すえむら資料館活用等事業者選定委員会に関すること。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、泉北ニュータウン地域の再生に関すること。

※(3)(4)(5)は、平成29年度以降に追加

◆経過

- 平成20年4月 財政局企画部（チーム制）内にニュータウン再生担当理事（部長級）、ニュータウン再生担当課長を配置 ※現在、企画部は市長公室の所管
- 平成22年4月 建築都市局内に部相当組織としてニュータウン地域再生室設置
泉北ニュータウンに特化した別組織として設置
- 平成29年4月 ニュータウン地域再生室を市長公室に移管
泉北ニュータウン地域の再生に向けた取組をより一層推進、強化していくためあわせて、同室の事務を所管する理事（局長級）を配置

泉北NTまちびらき50周年事業

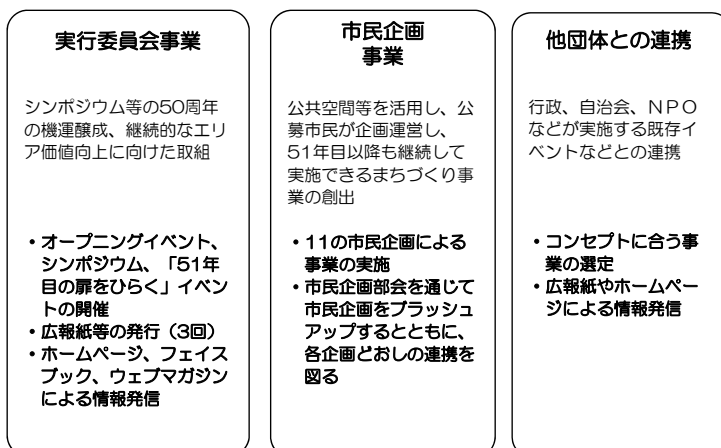


◆スキーム

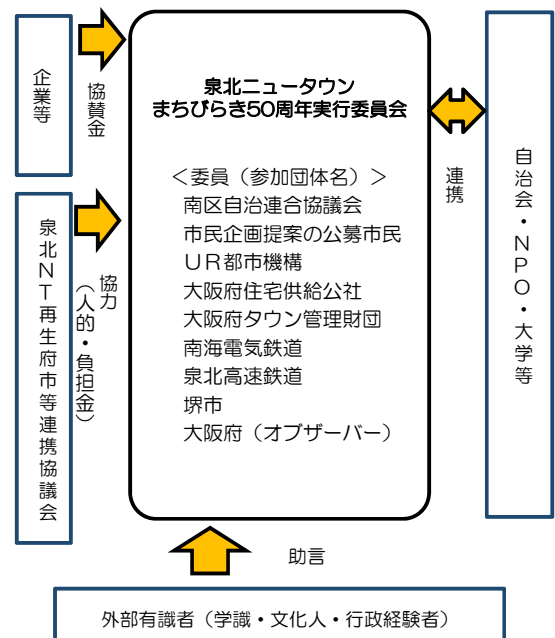
○事業の目的

平成29年（2017年）にまちびらきから50年を迎える泉北ニュータウンにおいて、関係する市民、事業者、公的団体が一体となった50周年事業を実施し、その事業を通じて、新たなまちの担い手を掘り起こし、泉北ニュータウンの今後の50年の新たなまちの形成に向けた礎とするとともに、地域の知名度向上を図る。

○事業内容



○実施フレーム



泉北NTまちびらき50周年事業



◆泉北ニュータウンまちびらき50周年事業準備委員会

50周年事業の構築に向けた検討などを行うために、平成28年7月から12月の間に、実行委員会に先立ち、設立。

<委員（参加団体名）>

UR都市機構、大阪府住宅供給公社、大阪府タウン管理財団、南海電気鉄道、泉北高速鉄道、大阪府タウン管理財団、大阪府（オブザーバー）

- 事業構築支援事業者の公募
- 50周年事業の構築
事業全体の方向性、泉北ニュータウンの課題、市民企画事業選考にあたっての基準
- 市民企画事業の公募・選考
駅前エリアや電車などを活用した取組
農村や里山、公園、緑道などのパブリックスペースや資源などを活用した取組
公的賃貸住宅（団地）やその敷地エリアを活用した取組
泉北の知名度を高める情報発信
- 協賛金募集

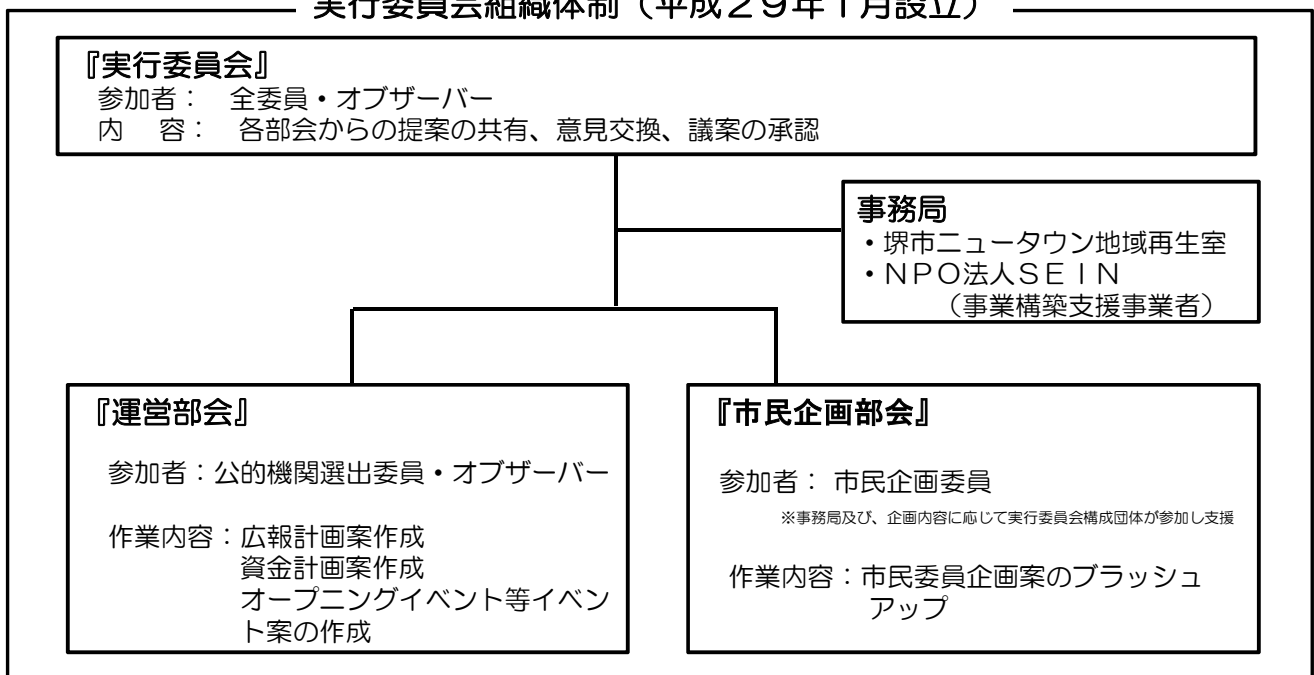
5

泉北NTまちびらき50周年事業



◆泉北ニュータウンまちびらき50周年事業実行委員会

実行委員会組織体制（平成29年1月設立）



6

泉北NTまちびらき50周年事業



◆テーマ

出会う つながる 歩みだす

◆ロゴマーク



SENBOKU NEWTOWN 50th

泉北ニュータウンの象徴的な建物である団地をモチーフにしたデザイン

7

泉北NTまちびらき50周年事業



◆泉北NTまちびらき50事業実行委員会の事業費

収入<主なもの>

泉北ニュータウン再生府市等連携協議会からの負担金 1000万円（2年間）
UR都市機構、大阪府住宅供給公社、大阪府タウン管理財団、
南海電鉄（グループ）、堺市が泉北ニュータウン再生府市等連携協議会を通じて負担
協賛金 574万円
36団体から協賛金を得る（3万円から50万円）

支出<主なもの>

泉北ニュータウンまちびらき50周年事業構築支援事業委託料 1466万円（2年間）
事業構築、事務局運営補助、広報紙の作成、ホームページやフェイスブック等
での発信、実行委員会主催事業運営補助 など
実行委員会主催事業に要する費用 104万円
謝礼金（外部アドバイザー、手話通訳・要約筆記など）、会場借上料 など
その他（実行委員会開催費用など） 4万円

8

泉北NTまちびらき50周年事業



◆泉北NTまちびらき50周年事業実行委員会事業

- オープニングイベント（H29.4.29）
泉北ニュータウン50周年事業のスタートを市民に広く伝える
まちびらき50周年事業の告知



泉北ニュータウン内の中学校の吹奏楽部による演奏



泉北ニュータウン出身の沢口靖子さんを招いたシンポジウム
（堺市との共催）

泉北NTまちびらき50周年事業



◆泉北NTまちびらき50周年事業実行委員会事業

- 記念シンポジウム～泉北の未来を考える～
泉北の次の50年を展望し、まちの未来を講演者や参加者とともを考えるシンポジウム

泉北ニュータウン まちびらき50周年 泉北の次の50年を展望し、まちの未来を講演者や参加者ととも考えるシンポジウム	
出会う つながる 歩みだす 泉北ニュータウンまちびらき50周年記念シンポジウム ～泉北の未来を考える～	
日時	平成29年7月8日（土） 13:00～15:15（受付12:30～）
会場	南区役所2階 会議室（堺市南区松山台1丁1-1） <small>※阪上島津線「堺・美木」駅下車すぐ ※公共交通機関をご利用ください。</small>
【プログラム】	
第1部	13:00～13:45 基調講演 『泉北の次の50年を展望する』 大阪府立大学 特任教授 増田 昇氏
第2部	14:00～15:15 公開座談会 『泉北の『まちの未来』を語り合う』 パネリスト <実行委員会アドバイザー> 大阪府立大学 特任教授 増田 昇氏 日本大学 助教授 小川 隆之氏 <実行委員会委員> 〔政府系〕 堺経済対策協議会 池田 一彦 委員 〔民間系〕 泉北建設 川口 正典 委員 〔民間系〕 泉北建設 川口 正典 委員 〔民間系〕 泉北建設 川口 正典 委員 〔民間系〕 泉北建設 川口 正典 委員
参加費	無料（申込不要・先着順）
お問合せ先	泉北ニュータウンまちびらき50周年事業実行委員会事務局 〔堺市 ニュータウン地域振興室〕 〒590-0078 堺市南区南瓦町3-1 電話：072-228-7530 MAIL: nsa@city.sakai.lg.jp

大阪府立大学研究推進機構植物工場研究センター長 増田 昇名誉教授による講演
泉北ニュータウンまちびらき50周年事業実行委員会委員等によるパネルディスカッション
泉北ニュータウンで様々な取組を実施している団体等との交流会



会場の様子

チラシ

泉北NTまちびらき50周年事業



◆泉北NTまちびらき50周年事業実行委員会事業

○記念イベント～51年目の扉をひらく～
市民企画事業の報告

未来の泉北ニュータウンを担う子どもたちによる発表
泉北ニュータウン出身の著名人等によるビデオメッセージの上映



会場の様子



チラシ

ビデオメッセージをいただいた方々（敬称略）

今井雅子（脚本家）、武蔵（格闘家）、田中明日菜（INAC神戸レオネッサ）、
藤浪晋太郎（阪神タイガース）、北條史也（阪神タイガース）、森友哉（埼玉西武ライオンズ）、
山田花子（吉本クリエイティブエージェンシー）、吉田たち（吉本クリエイティブエージェンシー）

泉北NTまちびらき50周年事業



◆泉北NTまちびらき50周年事業実行委員会事業

○情報発信

泉北ニュータウンまちびらき50周年事業のホームページ・フェイスブックの構築
情報紙（春夏号及び秋冬号）の発行（春夏号 20,000部、秋冬号 30,000部）
泉北NT等の魅力を発信するPR冊子（WONDER SENBOKU）の発行（20,000部）
市民ライターによる情報発信、

※このほか、堺市広報による情報発信も随時実施。



ホームページ



フェイスブック

泉北NTまちびらき50周年事業



◆泉北NTまちびらき50周年事業実行委員会事業

○情報発信

「greenz.jp」(グリーンズドットジェイピー) (<http://greenz.jp/>)
ソーシャルデザインのヒントを発信するウェブマガジン「greenz.jp」(月間読者数20万人)で、「これからのニュータウン入門」と題して、50周年事業の取組を紹介



取材記事連載

- 1 農村と都市が共存し、住民主体のまちづくりも実現した「泉北ニュータウン」が目指す、“スタンドアローン型”のまちって？(H30.1.10)
- 2 泉北ニュータウンで新しい地産地消のあり方を模索する。(H30.1.19)
- 3 まちの内側・外側から「泉北ニュータウン」の魅力を再発見！(H30.2.26)
- 4 「今あるもの」を活かすこと。周囲を巻き込んで楽しくまちづくりをする方法(H30.3.5)
- 5 いつか戻ってきたいと思える体験が、明日のニュータウンをつくる。(H30.3.9)
- 6 「恩返し」が紡ぐまちづくり。次の世代に渡したいもの。(H30.3.16)

13

泉北NTまちびらき50周年事業



◆泉北NTまちびらき50周年事業実行委員会事業

○情報発信



情報紙(春夏号及び秋冬号)の発行



泉北NT等の魅力を発信するPR冊子の発行

50周年事業から発見された泉北NT等のポテンシャルや既存の魅力的な取組みを冊子に再編集し、冊子をみた泉北NT外に暮らす人々がこの街に住みたい、この街に遊びに来てみたいという行動につなげることを目的に発行。

発行元：NPO法人SEIN
協力：泉北NTまちびらき50周年事業実行委員会

14

泉北NTまちびらき50周年事業



◆泉北NTまちびらき50周年事業実行委員会事業

○情報発信

市民ライターによる情報発信

市民参画の機会を提供し、自らが50周年事業の様子等を取材・発信することで、泉北ニュータウンまちびらき50周年事業を「自分ごと」としてとらえるキーパーソンを増やす。



市民ライター養成講座の様子

市民ライターの活動内容（フェイスブックで発信）

- ①協賛企業ライター：協賛企業への取材及び泉北の魅力取材記事執筆。
- ②ひとことライター：実行委員会事業、市民企画事業及び連携事業のイベントに参加し、開催中もしくは終了時に短文で報告する。

泉北NTまちびらき50周年事業



◆市民企画事業（SENBOKU TRIAL）

公募で選ばれた
11名の市民企画プロジェクト

SENBOKU TRIAL

50周年から51年目へ、そしてその先の未来へつなぐため、泉北を面白くする市民企画プロジェクト「SENBOKU TRIAL」が始まります。「SENBOKU TRIAL」とは公募で選ばれた市民提案の暮らしのアイデアを、市民と泉北に関わる企業・自治体等がパートナーになって実現するプロジェクトです。これから、まちのあちこちで動きだすTRIALを応援し、参加し、みんなで楽しもう！



緑道・公園を活用した
屋外カフェのオープンや
体験型イベントを開催
「緑道カフェプロジェクト」



岩藤 邦生 Iwano Kenji

まちの魅力や面白い、新たな楽しみを創出するため、春から秋にかけて、公園や緑道にてオープンカフェの出店や、ヨガなどの体験型イベントを合わせたプログラムを展開します。

Profile
南区高倉の住宅街の中でオーダーメイドショップ「iw」を経営しています。泉北ニュータウンに住み始めて13年、自分たちが住むまちがよりよくなるように奮闘中。

自然豊かな公園と緑道



「大学生発！
意外とステキ★
泉北デートスポット」

大前 藍子 Omeo Aiko

泉北ニュータウンに通学する学生が、デートで使いやすいカフェや公園などのおでかけ泉北スポットを見つけ出し、泉北高速鉄道の車内等で発信します。見て、読んで、楽しい情報をお届けします！

Profile
大阪府立大学出身で、現在はNPO法人に勤務し、まちづくりや地域団体の運営や企業などのネットワーク作り、コミュニティビジネス・ソーシャルビジネスの支援を行っています。



私のお得意な
デートで楽しいやすい
カフェや公園の多い泉北



「弾でスタイリッシュな
アコースティック民族音楽プロジェクト
"Skylah" (スカイリッシュ)」

上沼 健二 Kaminuma Kenji

イベント開催時に、飲食ブース、会場内の様々な場所で、フィドル、フルート、バウロン、カホンなどの民族楽器による音楽隊を率いて、アコースティック音楽などを演奏し、音楽が身近な泉北ニュータウンをPRしていきます。

Profile
赤坂出身、パーカッション・フィドル奏者です。高校・北沢の伝統音楽をライブ活動で発信しています。楽器演奏ワークショップを通じ、後進の指導にも力をいれています。



自然豊かな公園



泉北NTまちびらき50周年事業



◆市民企画事業 (SENBOKU TRIAL)



**レモンの植樹・栽培を通して、
泉北のくらしを楽しもう！
「泉北レモンの術ストーリー」
@公社茶山台園地**

河谷 由佳 Kariya Yuka

柑類の生育にふさわしい環境・気候の泉北ニュータウン。森ヶ丘駅
から近い公社茶山台園地の敷地に「50周年のシンボル」として
レモンを植樹し、地域のみなる交流の場や子どもたちが自然とふれあ
える場をつくり、たくさんの方々に訪れていただきたいと思っています。

Profile
緑道ランニングにはまりマラソンが人生
の楽しみに。平成27年夏、泉北レモン
の術にしよう、と活動を開始しました。青
い空と緑豊かな泉北をもっと輝かせた
いイベント開催です。



私のイテラシ
四季折々の風景を見て
感じながら、快風に
ランニングができる緑道



**ダンボールを使った
“むれ”あそび
「あそびでつなげる”ひとつむぎ”**

小林 晶子 Kobayashi Akiko

駅前広場や公園で、数百個のダンボールを積み上げて、大きなオブ
ジェをつくります。子どもも大人も夢中になって「なにをつくらうか？」
「どうやって遊ぼうか？」を考え、作り、遊び、壊し、片付ける。
シンプルだから楽しい「むれあそび」を行います。

Profile
仕事や子育ての中で、ゲームで動くおも
しろさと楽しさを発見。みんなで遊ぶ
「むれあそび」を通じて、新しい出会い
の場とチームづくりをしています。



私のイテラシ
自然がいっぱいの
緑道の公園



**農と人をつなぐ収穫体験や
駅前マルシェを開催
「泉北・ファーム”プロジェクト」**

泉北 美由 Shikata Yoshiji

野菜づくりに興味のある人を対象に、自然豊かな園地で野菜の栽培
を実践し、買った野菜の収穫の仕方・手入れを学ぶ体験会を、夏と秋
に開催します。また、いずみがお広場で開催予定のマルシェでは、
ニュータウン近隣農家の野菜等の販売を行います。

Profile
農産物販売所、環境を引継ぎにNPO
法人設立に参加し、地産地消推進や
高齢者支援に取り組んできました。そ
の延長で、地域資源を活かす「あな
い農業塾」の運営に当たっています。



私のイテラシ
新鮮で美味しい野菜を育てる
上神谷・森ヶ丘などの地域



**「子どもプログラミング
サポーター100人プロジェクト」**

田重田 謙一郎 Tajima Sheichiro

無料の子ども向けプログラミング道場を泉北で開催します。
子どもたちが削りたい、実現したいことを、大人が同じ目線に立ち、
一緒に考えて考え、また、それらをサポートする大人も増やします。
あなたも子どもプログラミングサポーターになりませんか？

Profile
プログラミングに興味がある子どもに学べ
る場を提供したいという思いから平成28年
2月に「CoderDojo」(コーダードジョウ)
型も立ち上げ、無料のプログラミング道場
を毎月開催しています。



私のイテラシ
子どもが夢中になれる
遊びがいっぱいの
「ピッパパン」



泉北NTまちびらき50周年事業



◆市民企画事業 (SENBOKU TRIAL)



**「まちの魅力を未来に受け継ぐ
“泉北こどもかるた”**

西上 孔枝 Nishigami Yoshie
泉北ニュータウン誕生経緯をテーマにシンポジウムを開催することで、
地域資源を再発見し、地元の小中学生とシニアで協力して「泉北こども
かるた」を制作します。秋には「かるた大会」を開催し、子どもたちが、
泉北ニュータウンの未来を語る「こども未来会議」を開きます。

Profile
まちびらきの昔に、かつての泉北多村に
生まれました。開発と共に幼少期を過ごし、
現在は地元工務店の三代目を務める
傍ら、NPO法人するいセンターを立ち上
げ、まちづくり活動に取り組んでいます。



私のイテラシ
歴史が誇る泉北



**地域に開かれた
コワーキングスペースの開設
「暮らしはたらきつながる」**

西 恭利 Nishi Yoshie

緑あふれる公園に隣接し、農に近い住環境を生かしながら仕事ができ
る暮らしを実現するため、既存ストックを生かし、建築・不動産と
人を結びつけるプラットフォームとなるコワーキングスペースを開設しま
す。また、地域の方に開かれた、地産地消食材を提供するオープン
キッチンを開業しています。

Profile
泉北ニュータウン住宅リノベーション
協議会のメンバーとして、中古戸建で
住宅のリノベーションを推進しています。
また、地元野菜中心のカレーをふるまう
「だんざりキッチン」を通じ、泉北の協
力をアピールしています。



私のイテラシ
新鮮な農産物の消費促進



**「みんなが主役」
泉北吉本新喜劇プロジェクト」**

野口 正文 Naguchi Masahumi
みんなが知っている吉本新喜劇を泉北で上演します。泉北のエピソード
などを踏まえたオリジナルの脚本を作り、オーディションや選考会
を経て選ばれた市民のみならず、吉本興業のタレントさんと新喜劇
の舞台に出演していただく。その道場で選考を披露していただき
ます。泉北のみならず泉北の新喜劇作り出します。

Profile
嵐山台在住。泉北高速鉄道の開業を
しています。泉北で暮らし、泉北で働く
主婦の泉北人36歳です。
20代から国際交流事業に参加し、
人との出会い、繋がりを求める事
の大切さを知りました。



私のイテラシ
ホノの結びの地えい緑道



**泉北の立地を活かした
新たな自宅活用に挑戦
「地域密着いたたきます
プロジェクト」**

山口 香代子 Yamaguchi Kayoko

食を通じた地産地消活動を広げるために、泉北の食材を使った料理
教室・食育を行います。自宅の菓子工房にて、上神谷米やヨシダ
ファームの産品を使ったクッキーや、身体に優しい菓子を製造
し、地元のお店で販売するほか、様々なイベントに出店しています。

Profile
栄養士・調理師・保育士、保育園勤務
時代に、アレルギーも一緒に食べ
られる軽食を考案し、レシピ本が
出版されました。平成28年、泉北の
自宅に菓子工房が完成し、地産地消
おやつを開発しています。



私のイテラシ
パンジに続く参道端の
桜並木のアーチ

泉北NTまちびらき50周年事業



◆連携事業

泉北NTまちびらき50周年事業実行委員会がコンセプトに掲げる「出会う、つながる、歩みだす」を実現することを目的に、50周年事業の周知及び機運の醸成となる連携事業（既存事業を含む）を募集。20団体により、合計38事業が実施された。



泉北NTまちびらき50周年事業



◆堺市主催の事業

○健康・医療まちづくりシンポジウムの開催

泉北ニュータウンが健康・医療のまちとして発展するとともに、地域住民の健康寿命の延伸をはじめとした新たなまちづくりの方向性を考えるシンポジウムを開催。

東京大学高齢社会総合研究機構 辻哲夫特任教授による講演

筑波大学大学院人間総合科学研究科 久野譜也教授による講演

パネルディスカッション（コーディネーター大阪市立大学大学院創造都市研究科 小長谷一之教授）



講演の様子



パネルディスカッションの様子

◆51年目の取組

市民、NPO法人が中心となって、51年目の取組を実施
WONDER SENBOKU推進会議の立ち上げ
泉北のまちとくらしを考える財団の立ち上げ
市民企画事業の継続実施



WONDER SENBOKU推進会議

泉北NTの「エリア価値の継続的な向上」の課題解決に向けて、51年目以降も自立型活動として継続するために、月1回、事業構築のためのミーティングを継続して開催。

泉北のまちとくらしを考える財団

NPO法人SEINが中心となり、地域を支える新しい資金循環の仕組みづくりに向けた財団の立ち上げに取り組む。
サムズ（設立発起人）が、30～40代を中心に、102人集まる。



泉北ニュータウンに関わる市民・
企業・大学・行政がともに主体と
なったまちづくりを…

ご清聴、ありがとうございました。